

月刊 まつなみ

発行2010年1月1日



トシボ池の雪景色 泉町 仙石 正和 撮影



2010

No.123

1

January

●発行●



松波総合病院

羽島郡笠松町田代185の1
TEL.058-388-0111(代)

社会医療法人 蘇西厚生会

理 念

私たちは、地域中核の社会医療法人として地域住民の皆様に、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基本方針

私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の働きがいと生活が安定し向上するよう努力します。

目 次

- 2010年 年頭にあたり
- 2010年 新年にあたって
2009年の漢字『新』
- 高血圧薬について
日本がもし100人の村だったら
お知らせ

2010年 年頭にあたり

新年あけましておめでとうございます。

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
理事長 松波 英寿



今年こそは良い年に、と願うばかりです。さて、わが国にとって昨年は、大きな転換点になると思われる一年でした。新政権が誕生し2009年の漢字は「新」になりました。期待した割には迷走しており、今後の展開が不安です。未曾有の不景気が続き、良くなる気配はありません。また、税収が40兆円を切るにも関わらず、その倍以上の予算を編成しようとしています。そのような予算たてでは、今後不安を感じます。

我々医療の世界では、来年度から診療報酬が引き上げられるといわれていますが、子供手当をはじめ、公約にした多くの事が実現は難しく、来年度から医療を取り巻く環境が劇的に良くなるとは想像しがたいです。結局は口先だけの改革になる可能性すらあります。また労働団体を支持基盤としているため、近年すすめられてきた公的病院の統廃合には消極的です。本来、国全体の医療の質、効率を向上させるためには、人件費率が高く、効率の悪い病院は統廃合されるべきですが、前述の理由で今後も存続し続けます。これは国民にとって不幸なことであるはずですが、選挙での票の獲得が主眼であるため、人気取り政策に腐心し、本来選択すべき政策が取られていないのです。

このように、一般の経済のみならず医療の世界でも、我々を取り巻く環境の改善はなかなか望めませんが、そもそもそのようなことを国に望むことが間違っているのかもしれま

せん。我々の環境は我々自身で築きあげなければなりません。

蘇西厚生会は医療の質においては、山北宜由病院長が“第4回医療の質管理研究会”を主催しBSCを中心として発展してきました。また効率化に関しては松波和寿副院長が“第10回日本クリニカルパス学会学術集会”を主催し、同会の主旨たるパスの使用により向上しています。一般の病院に先んじてこれらのことに取り組むことで、大きな成果を出しています。2010年はより一層、これら我々の強みを発揮していきたいと思えます。

トップクラスの医療を行うためには医療機器も更新が必要です。CT・MR等、常に我々は最新機器を導入してきましたが、本年はCTにおいても現存する世界最高機種を導入します。また、より安全でより高度な病棟管理が行えるように、患者モニターも最新機器に入れ替えます。老朽化した介護老人保健施設や4床病室の確保に向けての新しい建物の計画は、今年本設計に入ります。医療の運営のソフト面においても、建物や機器のハード面においてもより新しく地元の最先端であり続けられるよう、日々邁進していきます。職員の皆さんも、家族の方々とともに幸せな生活を送ることが出来るよう頑張りましょう。そして地域住民の皆様のために精一杯努力していきたいと思えます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

2010年 新年にあたって

あけましておめでとうございます。

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
病院長 山北 宜由



昨年に引き続き、景気の低迷は依然として厳しく、昨秋の政権交代で医療・福祉に係る今後の予算も見直しや廃止などの仕分けの対象となっていますが、残念ながら短期間の行政方針の変化で医療が格段に改善するとは言えない状況です。日本の人口1000人あたりの医師数はOECD30カ国中、依然最も少ない国の一つであることに変わりありません。これだけで医療の荒廃を訴えるのも早計ではありますが、このことも医療行政上最も重要な問題です。単純に考えても、今の新型インフルエンザの流行で患者さんが医療機関に押しかけ、診察待ち時間が長くなるということだけをとっても、医師数が多ければもう少し対処できるという考えもあります。良い医療の質を考える時、それは、「①医療技術の質」を根本においた「②受療環境の改善」、「③医療機関そのものの職場環境の改善(働き易さ)」、

「④医療機関の健全な経営」などが含まれることはいまでもありません。これらが揃わず国民に質の高い医療を提供できるはずもありません。しかし、日本の医療の現状では、医師や看護師の偏在・不足のために、この質の高い医療の第一の条件である「医療技術の質」さえ云々言う前の、「受診」そのものが不可能な地域が増加しています。いろいろな制約はあると思いますが、有資格者である医療職を増やさない限り、その第一歩が踏み出せないのです。是非、医療専門職(特に医師、看護師)の増加を期待するものであります。今年も松波総合病院は住民の方々の健康のためにまい進する所存です。この地域だけでは医療荒廃といわれることのない年にしていきたいと念じておりますのでよろしくお願い申し上げます。

「偽」⇒「変」⇒「新」

2009年の漢字『新』

一年世相を漢字一文字で表し時代の空気まで表現できる漢字の素晴らしさ!

二年前は偽装が横行し「偽」、一昨年は短期間で首相交代したことから「変」、
昨年は新政権・新型インフルエンザ・新たな裁判員裁判が始まり「新」

辞典による新の意味 ①シン・・新鮮・刷新・一新 ②あたらしい・・新しい
③あらた・・新手・新巻 ④にい・・新妻・新盆
⑤さら・・新地・新湯

今年の2010年が「新」に相応しい いい年であることを願って・・・

高血圧薬について

日本での降圧剤は血管を収縮させる交感神経をゆるめ、血管をひろめることより血圧を下げるレセルピンから始まり、以後様々な薬効を有する降圧剤が発売されました。

現在代表的降圧剤はアンジオテンシンⅡ(AⅡ受容体)受容体拮抗薬(ARB)と呼ばれることが多いです。日本では1998年に最初に発売されました。この薬は心臓や腎臓を保護し、副作用が少なく安定した効果が得られるとされ、抗動脈硬化薬としても注目されています。さらに心不全治療、腎不全の進行を遅らせるという効果が期待できます。

血圧は体内でレニン-アンジオテンシン系と呼ばれるものに影響される場合があります。レニンはアンジオテンシンノーゲンと反応して強力に血圧を上昇させる物質アンジオテンシンⅡを作ります。血圧上昇物質アンジオテンシンⅡの生成を抑制するACE阻害薬や作用を抑制するARB薬が作られました。

薬剤部部長 野田 孝夫



2009年までに4種類のARB+サイアザイド系利尿薬とのハイブリッド薬(配合薬)が発売されました。この薬は利尿薬以外の降圧剤で十分な治療効果が得られない場合のみ用いられます。2010夏を迎える頃には4種類全てのハイブリッド降圧剤は14日以上長期投与(注1)が可能となり、ハイブリッド車が爆発的に販売されたと同様、降圧剤にも本格的なハイブリッド時代の到来が予測されます。

(注1)新薬は発売後1年間、処方日数は14日以内と定められています。

降圧剤には、それぞれに副作用があり他の疾患治療薬と一緒に飲むことが禁じられている薬があり、必ず医師の診断を受け、持病があるか、現在服用している薬があるかを医師に告げて、正しい処方を受けましょう。患者さんの勝手な判断は大変危険です。

日本がもし100人の村だったら

100人のうち医師は0.2人です。先進国の平均は0.35人です。

看護師は0.9人です。デンマークでが1.4人です。

日本人の平均寿命は83歳で世界一(女性86歳、男性79歳)

医師の人数は総数、人工比とも増加しているが、病院あたりの人数は少ない。

過酷な労働環境の職場では、勤務医や看護師のなり手が減少している。

習慣こどもニュースのお父さん役を務めた 池上 彰氏著書より



1月

お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎入門コース…1回で糖尿病について一通り学べます。16日(土) 3階講堂にて午後2時～4時

◎毎週水、金曜日、5階病棟ダイールームにて 午後1時～2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。

交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院

名鉄竹島線15分 徒歩10分

タクシー20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院

名鉄電車羽島行10分 徒歩10分

タクシー20分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院

名鉄電車急行25分 徒歩15分

